



みなとのおしごと

～ その魅力 ～



令和5年3月
国土交通省港湾局

はじめに

この冊子は、港湾労働者不足対策アクションプラン（令和4年7月）の取り組みとして、港で働く方々と、国の職員との懇談会などの機会を通じ、「今」働かれている、若手の港湾荷役のスペシャリストの方を中心に、その仕事の魅力や働きがい、就職に至るまでの経緯などについて、国土交通省の職員が直接伺ったお話から主なものを抜粋して、国土交通省にて作成したものです。



懇談会の一例
（上、中：中国運輸局提供、下：関東運輸局提供）

<表紙の写真>
左上：北陸地方整備局・伏木海陸運送(株)
右上：中部地方整備局・鈴与(株)
下：四国地方整備局

目次

センパイに

聞いてみた!

< 写真：関東地方整備局 >

TOPICS

“ ここが魅力 ”

P 4

“ 就職のきっかけ ”

P 9

“ オフ（休日）の
楽しみ方 ”

P 14

1

みなとのおしごと “ここが魅力！”

人々の暮らしに
貢献

物流を支える

大型機械を
操れる

ダイナミック

資格が取れる

海外と
つながる

みなとのおしごと “ ここが魅力！ ”

物流を支えている、やりがい、達成感

職場が様々な経済活動に関わる非常に多くの貨物を扱う仕事ということもあり、一つ一つの仕事で関わった貨物が世の中に流通し、**人々の生活に貢献**しているということが身近に実感できることが魅力。
人々の生活を支えているのだと実感すると、自分が行っている仕事の意義ややりがいをとても感じる事ができる。

港湾の仕事は**物流の基本**と考え、ただ物を運んでいるわけではなく、商品であると考えながら、誇りを持って仕事をしている。

体力が必要で大変な作業もあるが、**終わったときの達成感**にやりがいを感じる。

自分が仕事をした船が出航していくときに「今日も怪我なく全力で仕事できたなあ」とやりがいを感じる。

物流の主流であるコンテナを修理し完成したときの**達成感**。

フォワーダーの魅力は常に海外の情勢に目を向ける必要があり**国際的な知識**が養われること。



< 写真：東北地方整備局提供 >

みなとのおしごと “ ここが魅力！ ”

物流を支えている、やりがい、達成感

海外と関わる機会が多い少数精鋭の職場。

人々のためになる仕事なのでやりがいがある。

自分が**作業指揮者**として一つの仕事が完結した際に**達成感**がある。大型外船の中での作業などは、なかなか経験できるものではないと思う。

船毎に仕事が完結するので、基本1日毎に仕事が終わる。同じ仕事は一度もなく、使う荷役機器・メンバーが少しずつ違うので、自分の裁量で出来具合が変わる所。

フォアマン（作業指揮監督）は実際に自分自身が作業を行うのではなく、現場の作業員（仲間）に指示を出し作業を進めていく業務。自分たちが日本の物流の根幹を担っているという気持ちもあるし、作業が事故無く完遂し、仲間とお疲れ様を言い合った際には**とても達成感が沸く**。

物流を支えるという非常にやりがいのある仕事。

外航船の入港前から出港まで携わり、輸出入を肌を感じながら行う業務は非常にスケールが大きく、毎日誇りを持って勤務している。自分が作成した作業計画に沿って荷役作業が進捗し、多くの方が作業をされていることは非常に責任が重いですが、コンテナヤード作業員、荷役作業員、沿岸トラック運転手、検数員、本船乗組員と協力して安全作業を終えた際は達成感を感じることができる。また、外航船への訪船では、**多くの国の人と関わる**ことができることも魅力。

荷役中は突発的なトラブルが起こることもあり、その際にはフォアマン（作業指揮監督）としてどのように対応するか、船会社と現場との間の立場からどの方法がより効率的でベストなのか導き出すことには苦勞する場面もある。しかし、何事も「無事故・無災害」で終わらせることが重要であり、この仕事は**とても責任のある仕事**だと思っている。

機械オペレーターという仕事は、自分一人でする仕事で、仕事の段取りや操作を自分一人で判断して行うことができ、達成感のある仕事だが、万が一、事故を起こすとすべて自分一人の責任となってしまう場合もある。簡単な仕事ではないと感じるが、**物流を支えるという非常にやりがいのある仕事**なので是非チャレンジしてもらいたい。

みなとのおしごと “ ここが魅力！ ”

ダイナミックさやスケール、職種の多様さ

ガントリー（クレーン）等は限られた人しかできない仕事。

スケールが大きく達成感が大きい。

いろいろな機械に乗れること。

規模の大きい仕事ができる事。積んだものが欧州や北米など遠い国へ輸出していることに対して魅力を感じる。

大きな重機を操縦し、海外向けの貨物を取り扱うことで、自分が日本の貿易を支えていると強く感じる。

港の中でも様々な職種もあって、魅力を感じた。

働きやすさ

努力をすれば評価されやすい職場。

開放的で自由な雰囲気な職場。

学歴とは関係ないところ。

実は大型荷役機械に乗ればエアコンがあるため夏は涼しく、冬も暖かい。

給料が働いた分もらえるので金銭面で生活が安定している。



<写真：四国地方整備局>

みなとのおしごと “ ここが魅力！ ”

資格の取得

ストラドルキャリアの免許を取得するなど、他社では経験することのできない仕事もあり、自分ができることが増え、自信に繋がりがいを感じる。

フォークリフトなどの資格を取らせてもらえフォークリフトの操作が上達していく所にやりがい。

入社後6年目になって、会社の方からフォークリフトの免許を取得するよう勧められたときは、運転に自信がないと断ったが、免許を取得するだけでいいからとのことで、免許を取得したところ、結局、フォークリフトに乗ることになった。

（中略）まだまだ、できない業務もあるが、できないものは無理をして行わず、遠慮せず他の職員に「できない」と伝えたと、助けてくださったり、できる方法を教えてくださったりと、**皆さん進んで助けてくださる方ばかり**。（中略）できなかった業務の1つが、できるようになると皆さんが褒めてくださるのでうれしく、**今では、この仕事を続けていく自信がつき、定年退職を迎えるまで働き続けたいと思っている**。



<写真：北陸地方整備局>

2

みなとのおしごとと“就職のきっかけ”

学校や職場
説明会

福利厚生

物流に興味
があった

給料が良い

語学を現場で
生かせる

規模の大きな
仕事がしたかった

地元の職場

みなとのおしごと “ 就職のきっかけ ”

自身の興味やあこがれ、経験を活かせる

元々、魚釣りが好きでよく港へ出かけていた。その時、近くに大きな貨物船から貨物を揚げたり、卸したりする作業を見ていて興味を持っていた。色々調べていくうちに**港湾は世界の架け橋**になっていることを知り、魅力を感じ就職した。

小さいころから海が好きで、海に関連する仕事がしたいと考え、就職活動を行った。特に、東日本大震災を経験し、被災地域の現状と復旧復興を生で見てきたこともあり、海に関する仕事の中でも幅広く地域のため、人のために貢献できる仕事に就職したいという考えを持ち、**インターンシップに参加したところ、自分の「海から世の中に貢献する」という気持ちと合致した業種・企業であると考え就職した。**

海外との**物流に興味があった**為。体を動かすのが好きだった為。

育った場所は非常に海が近く、幼少期の頃から海に触れて育ってきた。成長するにつれ、海に携わる仕事をしたいと思い、調べて自社に就職した。

海外在住経験があり、外国語大学で**語学を学んだ**ことを翻訳等ではなく、あくまで**現場で生かせる**職業として選択。

就職説明会で聞いた「フォアマン」（作業指揮監督）という言葉の響きに憧れて選択。

国際業務に携わりたかったためフォワードに就職。

学生時代に港湾関係の学校に通っていて資格を持っていたので。



<写真：北陸地方整備局>

みなとのおしごと “ 就職のきっかけ ”

自身の興味やあこがれ、経験を活かせる

就職活動の際に、島国である日本にとって海運関係の仕事というものは必要不可欠であり、今後も無くなることはないと思い興味を持ち、関連する会社を中心に就職活動をした。

子供の時から乗り物に興味があり、いろんな乗り物に乗ってみたいと思ったから。その中でも**港湾関係は乗り物の種類が多く、興味があった。**

前職でメーカー会社に勤めており、その頃物流会社へ訪問させて頂く機会が何度かあった。そこで物流というものはそれに係る多様な関係者が連携の上に成立するものなのだと実感し、自分達が受注した商品がどのようにしてお客様の手に届くのかが目に見えてわかるようになった時、自分もその中の一員として働いてみたいと思ったことが就職のきっかけ。その物流の中でも国外のものを輸出・輸入を行う貿易に興味をもった為、ご縁があった**港湾で働く事が決まった時は大変うれしく思った。**

大きな規模の仕事に関わってみたいと思ったから。

父がコンテナターミナルで働いていたことから、子供の頃から港に憧れがあった。

育ってきた地元での就職を希望。

国際貿易に興味があったから。



<写真：中部地方整備局>

みなとのおしごと “ 就職のきっかけ ”

学校やハローワーク、職場説明会

大学でのキャリアセンターで紹介。

学校からの紹介。（会社訪問した際に興味をもった為）

最初は物流に関する仕事がしたいという漠然とした考え方だった。数ある物流企業の中から実際に職場見学や自分の中で情報を精査し、港湾の仕事を志した。

以前、働いていた会社でも倉庫内での仕事をしてきたことも就職のきっかけだが、ハローワークで見た求人に掲載されていた従業員らしき男女3名の笑顔の写真に目が留まった。いずれの方も素晴らしい笑顔をしてらっしゃったので、この会社で、この方たちと一緒に働きたいと考えたことが、一番のきっかけ。

家族や知人からの紹介

親が港湾の仕事で働いており、親の背中を追う形で就職。

知人の紹介。

知人の知人に紹介してもらいおもしろそうだと思った。紹介してもらった人には感謝している。

出身高校の先輩（当社社員）から業務内容説明を受けて。

叔父からこういった業種を教えてもらい、港の仕事に興味を持った。



<写真：九州地方整備局>

みなとのおしごと “ 就職のきっかけ ”

会社の特徴や受入れ体制

会社の経営理念に現場での作業というものに重きをおいていると感じた。会社説明会に参加した後、再度会社訪問し、部署ごとの説明を受けた際、コンテナ船や車輛船のプランニングの説明を受け、この仕事に携わってみたいと思い就職を決めた。

福利厚生がしっかりしていたから。

給料がよく安定しているから。

地元で活躍できボーナスが高かったから。

資格がなくても就職できたから。

事務ができると思ったから。

英語を使う機会が多いと考えたから。

海外でも働きたい願望があり、世界に展開している会社を選んだ。

会社がいろいろな乗り物を所有しており、幅広い分野で活躍したいと思ったから。

他社と異なり、港運のみならず船舶の運航も行っている点に惹かれたから。

就職説明会の雰囲気が良かったから。



<写真：近畿地方整備局>

3

“ オフ（休日）の楽しみ方 ”

ジムで運動

キャンプ

友人と旅行

趣味のバイク

スポーツ観戦

カフェ巡り

映画鑑賞

子供と遊ぶ

“ オフ（休日）の楽しみ方 ”

港湾の仕事は船の動きによって、週末でも関係なく仕事はあるが、その分代休もあり、休日は問題なく取れている。オフの日は**子供と一緒に遊んだり**していて週末は楽しく過ごしている。

希望休暇や有給の取得はできている。 家族旅行や趣味である**魚釣り**などに出かけ、気持ちをリフレッシュしている。

この業種は船が関わるので、天候や世界情勢を反映した貨物量の増減などによって仕事量が大きく変化するため、なかなか計画的にまとまった休みを取ることが難しい。休みをとれるように複数人で業務共有化を目指しているが、人手不足でなかなか満足のいく体制となっていないのが現状。オフの日は基本的に**趣味のラーメン屋巡り**をし、高校時代からの友人や会社の同僚とバドミントンで汗を流している。時折、長距離ドライブをして県内や近隣各県の港町を観光したりもしている。まとまった休みが取れた際は高校、大学時代の**友人などと旅行**にも行ったりし、休みを満喫している。

祝日なども仕事の日もあるが、**自分の希望する休日**をもらっているので温泉などに行きリフレッシュしている。

各班ごとに交代で休んでいる。私のオフの時間の過ごし方は、春、夏、秋は**キャンプ**を山に行くことが多い。冬は**スノーボード**が好きなので時間があるときは滑りに行っている。

子供と遊ぶ。

野球、ゴルフ、温泉めぐり。

キャンプ、**キャンプギア集め**、**映画鑑賞**、**旅行**、**カフェ巡り**など。

ドライブ、**ジムでの運動**。

友人とゲーム。

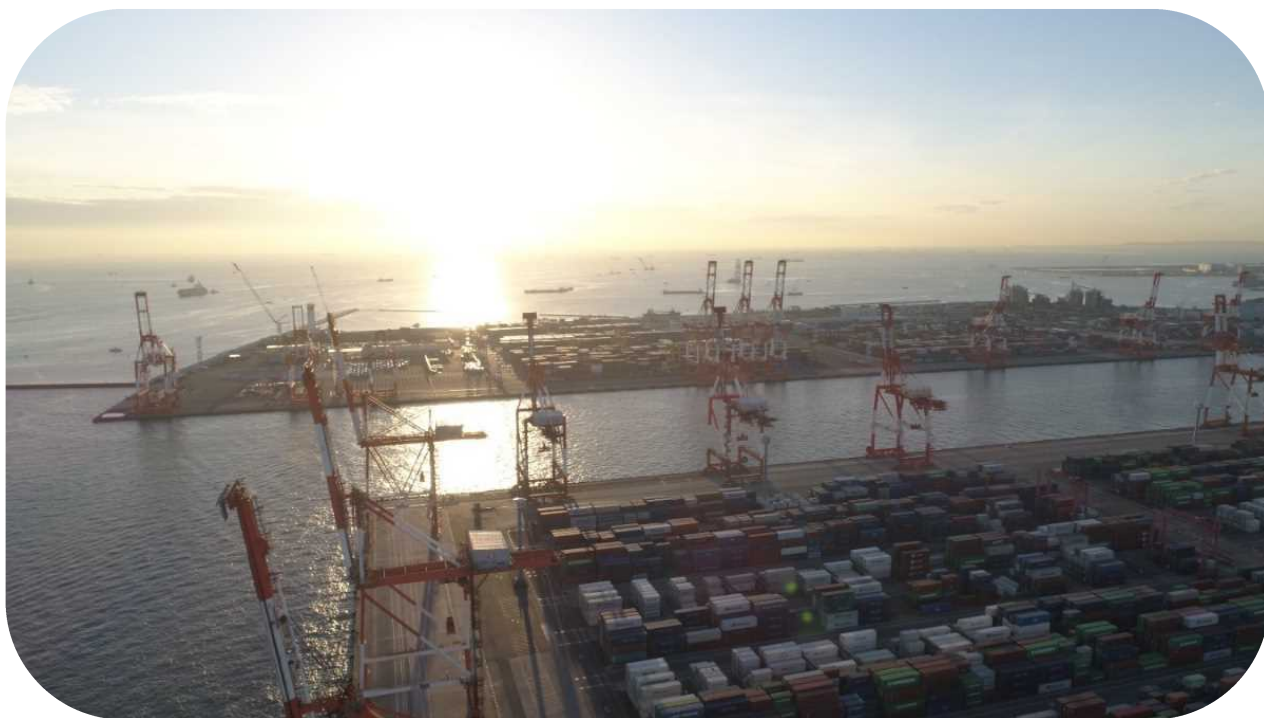
趣味のバイクに乗っている。

ゆっくり過ごす。

ドライブ、**旅行**、**家族で買い物や公園**に行き遊んだり、**バドミントン**をしたり。

スポーツ観戦。

おわりに



<写真：関東地方整備局提供>

この冊子の作成に伴い、ご協力をいただきました多くの港湾荷役スペシャリストの方々に対しまして、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。
この冊子が将来の港湾荷役スペシャリストを目指す方々の参考となり、また、現在、まさにみなとを舞台にご活躍されている港湾荷役スペシャリストの皆様におかれましても、ご自身のお仕事の魅力を再認識いただく機会となれば幸いです。

【問い合わせ先】
国土交通省 港湾局 港湾経済課
TEL：03-5253-8629